

総合特別区域評価・調査検討会における評価結果の概要(令和2年度)

2. 分野別状況(2)地域活性化総合特区 ①グリーン分野(5/5)

	総合評価 (ⅠとⅡとⅢを1:1:2の割合で計算)	Ⅰ 目標に向けた取組の進捗	Ⅱ 支援措置の活用と地域独自の取組の状況	Ⅲ 取組全体にわたる事業の進捗と政策課題の解決	総合評価に係る専門家所見(主なもの)
柏の葉キャンパス「公民学連携による自律した都市経営」特区 (千葉県柏市)	4.1	4.2 <u>進捗度</u> ・各主体の参画による活動の活性化 104% ・新ビジネス創造と地域経済の活性化 102% ・AEMSを活用した環境配慮型都市の確立 179% ・先進的・包括的健康・介護サービス体制の構築 66% ・虚弱予防活動の展開 72%	4.0 <u>規制の特例等</u> ・訪問リハビリテーション事業所整備推進事業 ・歯科衛生士等居宅療養管理指導推進事業等 <u>地域独自の取組</u> ・訪問リハビリテーション事業所及び介護予防訪問リハビリテーション事業所整備推進事業に係る医師の配置要件の緩和等	4.0	・コロナ禍の影響で数値目標が達成されていないと考えられる評価指標があり、この状況が長引くことも予想される中、社会の変化に対応した取組を期待したい。 ・CO2排出量の削減率の数値目標は、国の目標値が引き上げられたことから、見直しが望まれる。 ・特に都市経営と地域エネルギーの分野におけるマネジメントの枠組みが優れている。 ・平成23年度のAEMSの金融支援の事業効果が当該年度に発現したことについて追加的な説明を期待したい。 ・パーソナルデータに配慮した独自のデータプラットフォームの特徴を活かしつつ、都市経営、エネルギー、健康の3軸のデータが繋がることで生み出される新たな価値創造の実践に期待したい。 ・グリーン・イノベーション分野では、MBR(予測エンジン)やIoTセンサー、プラットフォームなど高度なデータ利活用によるAEMSの進化への取組に期待したい。